

4. 調査、予測及び評価の項目

4.1 項目の選定

横川ダム事業の土地又は工作物の存在及び供用における調査、予測及び評価の項目を表 4.1-1に示します。

表 4.1-1 横川ダム事業の土地又は工作物の存在及び供用に係る調査、予測及び評価の項目

環境要素の区分	影響要因の区分			土地又は工作物の存在及び供用				概要
				ダム堤体の存在	建設発生土処理場の跡地の存在	道路の存在	ダムの供用及び貯水池の存在	
環境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	大気環境	大気質	粉じん等	—	—	—	—	「工事の実施」に伴う環境要素は、項目から削除します。
			騒音	騒音	—	—	—	
			振動	振動	—	—	—	
	水環境	水質	土砂による水の濁り	—	—	—	○	
			水温	—	—	—	○	
			富栄養化	—	—	—	○	
			溶存酸素量	—	—	—	○	
	水素イオン濃度	—	—	—	—			
土壌に係る環境その他の環境	地形及び地質	重要な地形及び地質	×				対象事業実施区域及びその周辺において重要な地形・地質の存在は確認されなかったため、削除します。	
生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	動物	重要な種及び注目すべき生息地	○	○	○	○	—	
	植物	重要な種及び群落	○	○	○	○		
	生態系	地域を特徴づける生態系	○	○	○	○		
人と自然との豊かな触れ合いの確保を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	景観	主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観	○	○	○	○	—	
	人と自然との触れ合いの活動の場	主要な人と自然との触れ合いの活動の場	○	○	○	○		
環境への負荷の量の程度により予測及び評価されるべき環境要素	廃棄物等	建設工事に伴う副産物	—	—	—	—	「工事の実施」に伴う環境要素は、項目から削除します。	

注1) 1.○：選定した調査、予測及び評価の項目

2.×：選定しない調査、予測及び評価の項目

3.—：工事の実施の際に影響を受けるおそれがあるとされる環境要素であるため、選定しない項目。横川ダムは管理に移行する段階であることから、「工事の実施」に関する環境要素は、本冊子では検討の対象外としています。

注2) 横川ダムでは本体工事等に当たり購入骨材などを使用していたため、原石山は存在しません。

4.2 項目の選定理由

横川ダム事業における調査、予測及び評価の項目として、選定する理由を表4.2-1に、選定しない理由を表4.2-2に示します。

表 4.2-1 調査、予測及び評価の項目の選定理由

項目		環境要因の区分	選定した理由
環境要素の区分			
水環境	水質	土地又は工 作物の存在 及び供用	ダムの供用及び貯水池の存在等による横川における濁水の長期化、横川ダムの貯水池内及びダム下流における水温変化、横川ダムの貯水池内における富栄養化及び溶存酸素量の減少により生活環境が影響を受けるおそれがあるため、調査、予測及び評価の項目として土砂による水の濁り、水温、富栄養化及び溶存酸素量の4項目を選定します。
動物		土地又は工 作物の存在 及び供用	ダムの供用及び貯水池の存在等による土地の改変等により重要な種及び注目すべき生息地の生息環境が影響を受けるおそれがあるため、調査、予測及び評価の項目として重要な種及び注目すべき生息地を選定します。
植物		土地又は工 作物の存在 及び供用	ダムの供用及び貯水池の存在等による土地の改変等により重要な種及び群落の生育環境が影響を受けるおそれがあるため、調査、予測及び評価の項目として重要な種及び群落を選定します。
生態系		土地又は工 作物の存在 及び供用	ダムの供用及び貯水池の存在等による土地の改変等により地域を特徴づける生態系が影響を受けるおそれがあるため、調査、予測及び評価の項目として地域を特徴づける生態系を選定します。
景観		土地又は工 作物の存在 及び供用	ダムの供用及び貯水池の存在等による土地の改変等により主要な眺望点から景観資源を眺望する場合の眺望される景観が影響を受けるおそれがあるため、調査、予測及び評価の項目として主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観を選定します。
人と自然との触れ合いの活動の場		土地又は工 作物の存在 及び供用	ダムの供用及び貯水池の存在等による土地の改変等により人と自然との触れ合いの活動の場が影響を受けるおそれがあるため、調査、予測及び評価の項目として人と自然との触れ合いの活動の場を選定します。

表 4.2-2 調査、予測及び評価の項目の選定しない理由

項目		環境要因の区分	選定しない理由
環境要素の区分			
土壌に係る 環境その他 の環境	地形及 び地質	土地又は工 作物の存在 及び供用	対象事業実施区域及びその周辺において重要な地形及び地質の存在は確認されないため、調査、予測及び評価の項目として重要な地形及び地質を選定しません。